

人が元気 まちが元気

子どもからお年寄りまで市民一人ひとりが、生涯を通じてその人らしく健康で豊かな人生を送ることはすべての人の願いです。そのためにはどういったことが必要かを、市民で構成する「健康づくりを語る会」で検討を行いこのたび「とっとり市新元氣プラン」を作成しました。元気で楽しく暮らせるまちづくりをみんなで進めていきましょう。

安心して楽しく子育てを

近年の少子化、核家族化、情報氾濫、地域社会のつながりの希薄化など、社会情勢がめまぐるしく変化していく中、子どもたちを取りまく環境はさまざまな影響を受けています。

また、親となるうえで必要な幼少期からの子どもとのふれあいや家事への参加などの生活経験が浅いまま、子育てをスタートせざるを得ない状況にもあります。本市が行った次世代育成行動計画アンケート調査によると、「子どもを虐待している」と答えた父親は6.0パーセント、母親は20.7パーセントでした。こういった育児に対する不安の解消や児童虐待の防止のためには、子育てについて気軽に相談できる場所や仲間が必要です。今後

も、「子ども家庭支援室」などの相談体制の充実を図るとともに、心理相談員による育児相談や子育てサークルの充実、子育ての先輩による「子育て応援隊」

子ども家庭支援室

子どもの養育に関する相談や、関係機関と連携して子どもに関する悩みを抱える家庭への支援を行うとともに、児童虐待予防への取り組みなどを行っています。気軽にご相談ください。

子育て総合相談ダイヤル

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

☎ (0857) 36-0505

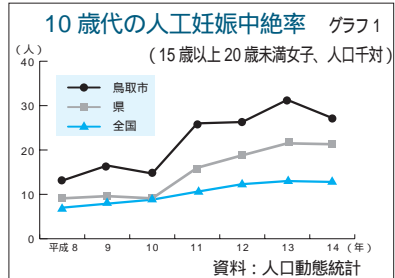
こども家庭支援室 (さざんか会館3階)

☎ (0857) 20-0122 ☎ (0857) 20-0144

健全な未来の親を育てる

の活動を推進します。

一方、元気な心と体を育むため、子どもたちの生活習慣の改善や命を大切にする心、自分を大切にする心を育てる取り組みが必要です。



健康は食生活から

生活様式が多様化している中で、外食や加工食品、健康食品への依存度が高くなっている一方で、

10歳代の人工妊娠中絶が増加傾向にある中で、特に本市は、全国・鳥取県いずれと比較しても中絶率が高くなっています(グラフ1参照)。これらの状況を踏まえ中学校と連携して命の大切さを伝える性教育を行うとともに、中学生が直接乳幼児とふれ合う体験学習をとおして、10歳代の時期に母性や父性を育てる取り組みを進めます。